

東北中央自動車道の利活用による地域活性化プロジェクトマップ

地域づくり

- ・高速道路への好アクセスを活かしたまちづくりやイベントの開催
- ・高速道路を活かした広域都市圏の形成



村山ICの整備を契機とした駅西エリアの開発構想

★まちづくり、イベント

まちづくり		予定年度
ア	IC周辺の好アクセスを活かしたビジネスホテル誘致	H29
イ	IC周辺の好アクセスを活かした多様な商業施設の誘致	H28
ウ	北村山圏域(広域)都市計画区域マスタープラン策定	H28
エ	蔵王みはらしの丘整備拡張(県住宅供給公社)分譲開始	H28~
オ	コストコかみのやま倉庫店オープン	H27
カ	かわにし森のマルシェオープン	H28
イベント		予定年度
キ	やまがた雪フェスティバル開催	H27~
ク	夏季利用を可能とするスキージャンプ台の改修(通年利用)	H27
ケ	東京オリンピックホストタウン認定(上山市)	H27~H32

産業振興

高速道路のICアクセスを活かした工業団地の造成と企業誘致

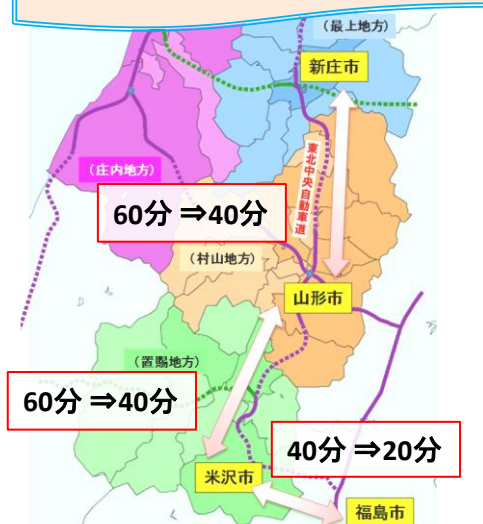
- ・IC10分圏工業団地数 36箇所(H27)⇒54箇所(H30)
(山形県道路中期計画)
- ・企業立地件数年間12件(H21) 23件(H26) ⇒年間25件(H31)
(やまがた創生総合戦略、工場立地動向調査)

■ 企業立地

箇所名	予定年度
1 山形アキレスエアロン操業	H27
2 大商金山牧場操業	H28
3 協和木材操業	H28
4 オールクリエーション操業	H26
5 天童インター産業団地造成	H27~
6 細胞科学研究所操業	H28
7 フレッシュダイナー操業	H26
8 山形中央インター産業団地完成	H28
9 上山IC周辺を含めた新たな工業団地操業	H31
10 KDDIエポルバ操業	H26
11 フコク物流操業	H27
12 日栄電機操業	H27
13 住理工山形操業	H28



東北中央自動車道(福島~新庄)整備による主要都市間の時間短縮状況



・高速道路のIC30分圏域県内人口率
71%(H26)⇒95%(H31)
(やまがた創生総合戦略)

高速アクセスの強化

高速道路の利便性を向上し、地域活性化につなげるため、追加ICやアクセス道路の整備

- ・追加(地域活性化)ICの整備
- ・ICの供用と連携して行われるアクセス道路の整備

() 書きは地域活性化IC

地域活性化IC名	供用予定年度
1 村山大石田IC	H29
2 村山北IC	本線と同時期
3 東根北IC	本線と同時期
4 米沢中央IC	H29

ICアクセス道路名	供用予定年度
A 村山ICと村山駅を結ぶ道路整備	H31
B (主)寒河江村山線東根北IC 松沢橋工区	H29
C (一)東根長島線長瀬工区	H28
D (主)天童大江線蔵増バイパス	H29
E (主)米沢高島線花沢工区	H29
F 国道287号川西バイパス	H30年代前半
G 国道287号米沢北バイパス	H30年代前半

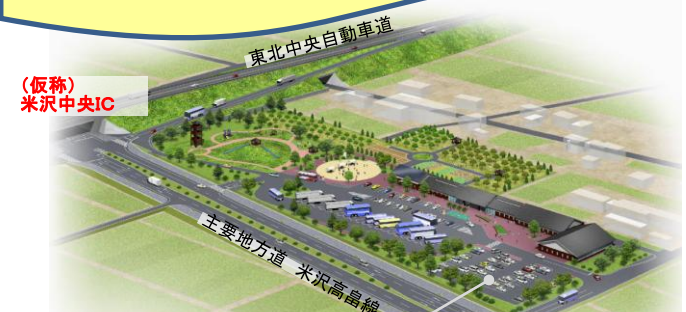
観光振興

地域の拠点となる重点「道の駅」よねざわ(仮称)の整備

- ・総合観光案内窓口(山形県の南の玄関口)による情報提供
- ・高速バス等のターミナル施設整備

やまがた道の駅ビジョン2020(仮称)の策定

- ・18駅(H27)⇒30駅(2020年代初頭)
- ・IC30分圏主要な観光地数61箇所(H27)⇒86箇所(H30)
(山形県道路中期計画)



道の駅名	供用予定年度
重点道の駅よねざわ(仮称)	H29

凡	例
開通区間(有料)	■
開通区間(無料)	■
事業中区間(有料)	■
事業中区間(無料)	■
未事業化区間	■

() 書きIC・JCTは仮称